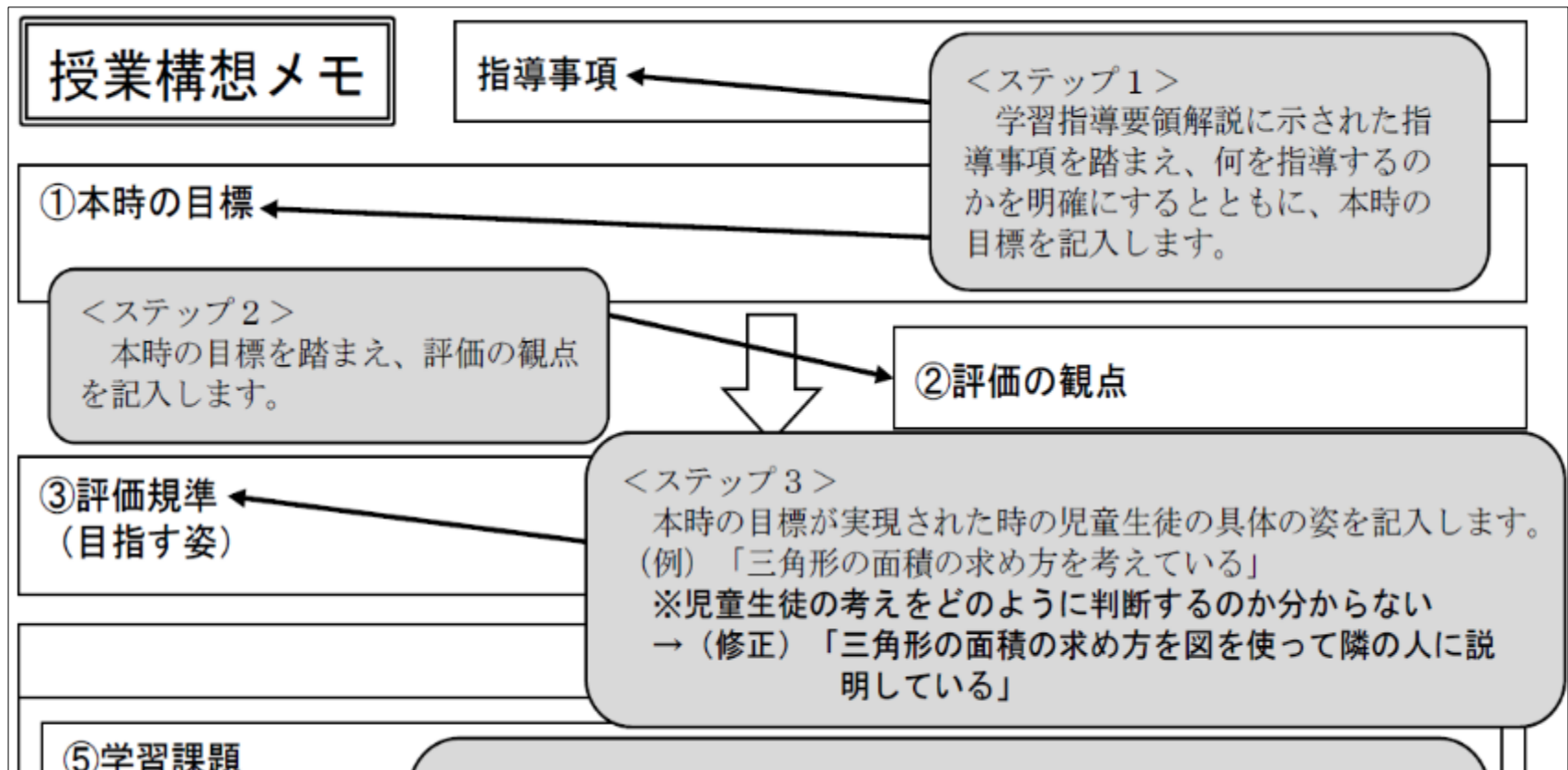


1 単位時間の指導計画の作成

1 単位時間の指導計画の作成

授業構想メモの作成

【作成の手順】



1 単位時間の指導計画の作成

授業構想メモの作成

【作成の手順】

⑤学習課題

<ステップ4>

本時の目標を踏まえ、振り返りの時に「今日は、こんなことが分かった」「こんなことができるようになった」という、児童生徒から聞かれることが望ましい声を記入します。これを基に、本時のまとめとして板書する内容を考えます。

(例)「三角形の面積は、長方形や平行四辺形に形を変えると求められるんだ」

⑥手立て

<ステップ5>

「まとめ」に向かうための適切な課題の文言を児童生徒の立場に立って考えます。

(例)「三角形の面積はどのように求めたらよいのだろう」

※児童生徒が何をやるのかイメージできない

→(修正)「どのように形を変えたら、三角形の面積を求められるだろう」

④まとめ
(児童生徒の声)

<ステップ6>

課題を解決するための手立て(指導過程のおおよそ)を考えます。

・教材、教具 ・言語活動の位置付け ・学習形態 など

※児童生徒の実態や身に付けさせたい力によって、例えば、提示する長方形にはマス目があった方がよいのか、ない方がよいのかといったことなど、一つ一つについて授業者の意図を明確にします。

1 単位時間の指導計画の作成

授業構想メモの作成

【作成の手順】

⑦適用問題

<ステップ7>

本時の目標が達成できたかどうかを確かめたり、学習内容の確実な定着を図ったりするための問題を設定します。

(例) 「次の三角形の面積を求めましょう」

※本時は、三角形の面積の求め方を考えること

→ (修正) 「次の三角形の面積の求め方を説明しましょう」

⑧授業を支える学習規律等

<ステップ8>

学校全体で取り組んでいる学習規律や生活規律、教室環境など、学びの土台となっていることを確認します。

1 単位時間の指導計画の作成

1 単位時間の指導計画の作成

【授業づくりの基本（1 単位時間の学習過程例）】

目 標

学習課題

教 材

指導方法

ま と め

目標・学習課題・指導・まとめの一貫性

1 単位時間の指導計画の作成

1 単位時間の指導計画の作成

【1 単位時間の指導計画の作成の手順】

- ① 指導計画の目標・内容などを学習指導要領で確認し、文言を具体化
- ② 具体化した目標や内容に基づき、中心となる学習活動を検討
- ③ 前時までの学習内容の定着状況を確認
- ④ 児童生徒の反応を予測する中で、どのようなところでつまづくのか、また、それをどのように克服させたらよいのかを検討
- ⑤ ①～④に基づいて、学習活動の流れと支援の内容や方法を検討
- ⑥ 教材・教具、資料を準備して、提示のタイミングと方法を検討
- ⑦ 学習活動ごとに、個人・ペア・グループなどの学習形態を検討
- ⑧ 目標や内容に即して、評価規準や評価方法を明確化
- ⑨ 板書計画を作成
- ⑩ 次の学習への見通しを検討

1 単位時間の指導計画の作成

1 単位時間の指導計画の作成

【作成に当たって】

- ①目標を達成するための学習課題は適切に設定されているか。
- ②児童が本時の目標を達成できる学習活動になっているか。
- ③教師の指導の結果、児童が本時の目標を達成できたかを、確実に評価することができる評価規準や評価方法になっているか。

参考資料

【小学校】

令和5年度
小学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課



【中学校】

令和5年度
中学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課



【授業改善推進チーム】

○授業改善推進チーム
実践資料